

# アルファ・シー祖語の音韻対応

ver.1.3.

2020年5月5日  
眞雪 (@nekw0)

## 注意

この PDF ファイルは概ね完成版である。

この PDF ファイルの1は理解してもらうための説明で、方針を述べるものではない。

## 1 読解の助け（方針を述べるものではない）

### 1.1. この PDF で使用中の包括記号

包括記号 cover symbol とは、慣習的に特定の種類の音を包括的に扱うために定められている記号であり、国際的に定められているものではなく、あくまでも慣習的なものです。

この PDF ファイルにおいては以下のものを使用します。(大部分が一般的ではありません)

記号	意味	参考
В (キリル文字)	任意の破裂音	ru: Взрывные согласные 「破裂音」
Ш (キリル文字)	任意の阻害音	ru: Шумные согласные 「阻害音」
Ф (キリル文字)	任意の摩擦音	ru: Фрикативные согласные 「摩擦音」
С (ラテン文字)	任意の子音	en: Consonant 「子音」
Č (ラテン文字)	任意の破擦音	テュルク諸語などの⟨č⟩
Q	任意の口蓋垂音	[q]
K	任意の軟口蓋音	[k]
N	任意の鼻音	[n], en: Nasal 「鼻音」
P	任意の唇音	[p]
R	任意の共鳴音	en: Resonant 「共鳴音」
T	任意の舌頂音	[t]
U	任意の後舌母音	[ʊ] = [U], [u] など
V	任意の母音	en: Vowel 「母音」
W	任意の接近音	[w]

包括記号は、IPA と同様の処理で有声・無声・帯気を示すことにします。

### 1.2. この PDF で使用中の素性

この PDF では素性に英語を使う気でしたが、フォントを游明朝に変えれば日本語で書いても全く問題が無いことに気付いたので、日本語で読めます。

### 1.3.X-SAMPA

X-SAMPA に慣れていないヒトのために、X-SAMPA を丸括弧((·))で示します。

### 1.4.環境の読み方

この PDF で使用する環境の記号は以下のとおりです。(一般的ではないものを含みます)

\$	音節境界	/	表記の開始	—	該当分節音
#	語境界	-	形態素境界	...	1 以上の分節音
¥	隣接	¬	否定		隣接者への影響

## 2.音韻対応

### 2.1.母音

#### 2.1.1.短母音と長母音

発生していること：

- ア祖 \*v<sup>[+円唇]</sup>
  - > 前ア c 祖 \*wv<sup>[+非円唇]</sup> > ア c 祖 \*v<sup>[+非円唇]</sup>
- 前ア c 祖 \*v: > ア c 祖<sup>[+低舌化]</sup>
- 長母音が存在する。条件については [html ファイル](#) 参照。

ア祖	前ア c 祖	ア c 祖	ア祖	前ア c 祖	ア c 祖
*a	*a *a:	*a *ə	*ɣ	*wi *wi:	*wi *ɿ
*ɔ	* <sup>[+口蓋垂]</sup> ɔ * <sup>[+口蓋垂]</sup> ɔ:	*a *ə	*∅ (2)	*we *we:	*we *wi
*ɛ	*ɛ *ɛ:	*e *e	*œ (9)	*wɛ (E) *wɛ:	*we *we
*i	*i *i:	*i *ɿ			
*ɔ	* <sup>[+口蓋垂]</sup> ɔ * <sup>[+口蓋垂]</sup> ɔ:	*ɔ *o			
*u	* <sup>[+口蓋垂]</sup> u * <sup>[+口蓋垂]</sup> u:	*u *ɿ			

※/ɸ, ʋは漢語音韻学・日琉語学で使われる記号で、ここでは摩擦中舌母音を表します。音価は、宮古語の /h/ の円唇性の有無を弁別する感じです。

2.1.2.母音表

	前舌	中舌	後舌
超高	—	*ɹ [z], *[zʷ]	—
高	*i	—	*u
中	*e	*ə	*o, *ɔ
低	*a, *ɑ		

2.2.子音

2.2.1.破裂音

- [+有声] > ∅|V̇
- [+軟口蓋] > [+口蓋垂] / ¥U

無声無氣		有声無氣		有声帶氣	
ア祖	ア c 祖	ア祖	ア c 祖	ア祖	ア c 祖
*p	*p( V̇) / (#) _	*b	*p( V̇) / (#) _ *v / # \$ _	*b <sup>h</sup>	*p <sup>h</sup> ( V̇) / (#) _ V̇   *w / V _
*t	*t( V̇) / (#) _	*d	*t( V̇) / (#) _ *z / # \$ _	*d <sup>h</sup>	*t <sup>h</sup> ( V̇) / (#) _ V̇   *j / V _
*k	*k( V̇) / (#) _ *q( V̇) / (#) ¥U	*g	*k( V̇) / (#) _ *q( V̇) / (#) ¥U	*g <sup>h</sup>	*k <sup>h</sup> (V̇) / (#) _ *q <sup>h</sup> ( V̇) / (#) ¥U V̇   * : / V _

### 2.2.2. 摩擦音

- [+軟口蓋] > [+唇] / ¥U
- [+軟口蓋] > [+声門] | V / #\_\_

	無声		有声	
	ア祖	アc祖	ア祖	アc祖
唇齒	*f	*f( V)/(#)__	*v	*w( V)/(#)__
齒莖	*s	*s( V)/(#)__ *ç( V)/(#){i, y, j}	*z	*z( V)
後部齒莖	*ʃ	*ç *h V/#__	*ʒ	*j *j V/#__ *ø( V)/(#)__i
軟口蓋	*x	ǂ *: *h V/#__ f( V)/(#)¥U	*ɣ	ǂ *: *h V/#__ v( V)/(#)¥U
声門	*h	*ø V *s / __{i, y, j}		

### 2.2.3. 破擦音

ア祖	アc祖	ア祖	アc祖
*ts	*tʰ( V)/(#)__	*tʃ	*ç( V)/(#)__
*dʒ	*r( V)/(#)__	*dʒ	*j( V)/(#)__ *ø( V)/(#)__i

### 2.2.4. 共鳴音

ア祖	アc祖	ア祖	アc祖
*m	*m( V)/(#)__	*r	*r( V)/(#)__
*n	*ŋ( V)/(#)__	*l	*n( V)/(#)__ *w / __#
*ŋ	*ŋ( V)/(#)__ *N/¥U	*j	*j( V)/(#)__

### 2.2.5. 子音連結

[複雑なので [html ファイル](#)を参照]

## 2.2.6.子音表 (予定)

	唇	舌頂	口蓋化	軟口蓋	喉
破裂音	*p, *p <sup>h</sup>	*t, *t <sup>h</sup>	*t̟, *d̟	*k, *k <sup>h</sup>	*q, *q <sup>h</sup>
摩擦音	*v, *f	*z, *s	*z̟, *ç	*ɣ, *x	*ɦ, *h
鼻音	*m, *m̥	*n, *n̥	*ɲ, *ɲ̥	*ŋ, *ŋ̥	*ɴ, *ɴ̥
R 音		*r, *r̥			
接近音	*w [w]		*j		

## 2.3.音調

- 祖語の全ての下降位置が前進している。
- 複合詞では語頭に近い下降位置のみが保存される。
- 無核語は語頭が隆起している。

	次々末降 proparoxytonal		末降 oxytonal		次末降 paroxytonal	
	ア祖	ア c 祖	ア祖	ア c 祖	ア祖	ア c 祖
高起式 high register /#ç	σ	ó	ó	σ-ó		
	σσ	óσ	óó	σσ	óσ	óó
	σσσ	óσσ	óóσ	σóó	óσ-σ	óó-σ
	σσ-σσ	óσ-σσ	óó-σσ	σσ-óσ	óσ-σσ	óó-σσ
	σσ-óó	óσ-σσ	óó-óó	σσ-óó	óσ-óó	óó-σσ
	σσ-óσ	óσ-σσ	óó-óσ	σσ-óσ	óσ-óσ	óó-σσ
低起式 low register /#ç	σ	ó	ó	σ-ó		
	σσ	óσ	óó	σσ	óσ	óó
	σσσ	óσσ	óóσ	σóó	óσ-σ	óó-σ
	σσ-σσ	óσ-σσ	óó-σσ	σσ-óσ	óσ-σσ	óó-σσ
	σσ-óó	óσ-σσ	óó-óó	σσ-óó	óσ-óó	óó-σσ
	σσ-óσ	óσ-σσ	óó-óσ	σσ-óσ	óσ-óσ	óó-σσ

- 長母音は下降と上昇が詞語ごとに決まっている。

## 更新履歴

ver1.3. 円唇前舌母音の写映形を変更。有声子音を削除。

ver.1.2. HTML ファイルと連携開始。